

## II 学校経営

### 1. 学校教育計画（中期計画期間：平成24年度～平成26年度）

課程・学科	全日制・国際科・芸術科・スポーツ科学科・理数科
-------	-------------------------

#### 1 果たすべき役割

専門学科高校として生徒一人ひとりの能力を伸ばし、新しい時代を担う人材を育成する 地域貢献など地域との協働・連携を通して、生徒の豊かな人間性と社会性を育む
---

#### 2 教育目標

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>○ 本校の特色を活かした専門性の高い教育内容を提供するとともに、学力の向上に向けた教育を推進する。</li><li>○ それぞれの個に応じた自己実現を支援し、キャリア教育を推進する。</li><li>○ 教職員の資質と能力を高めるとともに、開かれた学校づくりを行う。</li><li>○ さまざまな教育活動を通して、自主自立を促し、豊かな人間性を育成する。</li><li>○ 安心し信頼される学校の管理体制を構築し、維持する。</li><li>○ 個の確立と社会性の育成を主眼とし、生活全般を指導し、心身の健全な育成を目指す。</li></ul> |
|--|

#### 3 特色ある教育

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>○ 大学や研究機関との連携を進め、専門性の高い教育内容を提供するとともに、学力の向上に向けて、3年間を見通したバランスの取れた専門科目の配置など、特色ある教育課程を編成している。</li><li>○ 進路担当と担任及び学科担当が連携し、3年間を見通したキャリア支援プログラムを展開し、生徒の第1希望への進路実現を図っている。</li><li>○ 中学生及び保護者への広報活動を積極的に行うとともに、授業見学や体験授業を実施している。</li><li>○ 学科発表会や学校行事そして地域貢献など発表・表現の場を多く創出するとともに、各学科の特色を活かした部活動が活発である。</li><li>○ 清掃や節電による生徒の環境への意識を高めている。</li><li>○ 挨拶の励行や基本的生活習慣の確立の徹底を図っている。</li></ul> |
|--|

#### 4 現状と課題

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>○ 平成25年度からの新学習指導要領に基づく教育課程の編成に向けて、大学・研究機関との連携を一層深め課題研究や総合的な学習の時間を活用することにより、より高い専門性が追究できる体制の充実を図る必要がある。</li><li>○ 専門高校となり、進学実績が大幅に向上した。さらに生徒の進路実現を達成させるため、全教職員による進路指導方針の共有化と一層の授業改善を図り、生徒のキャリア発達の支援や生徒一人ひとりに向き合った相談体制を充実する必要がある。</li><li>○ 学校説明会における体験授業等の工夫・改善に努め、学校理解を促進するための取り組みの充実を図る必要がある。</li><li>○ 部活動実績の伸張や国際交流の活発化に伴い、複数の学科の交流も含めた教育実践プログラムの充実が課題である。</li><li>○ 生徒に対する不審者への対応や緊急時に対応できる防災教育の充実を図る必要があり、安全安心な学校生活を保障するための体制や取り組みの改善・充実を図る必要がある。</li></ul> |
|--|

5 中期目標と主な方策

	視点	中期目標	目標達成に向けた主な方策
1	幅広い学習ニーズに対応する多様で柔軟な教育の展開 ＜教育課程＞	多彩な専門教育課程の工夫を重ね、各専門学科の生徒の専門的学習を深めようとする意欲に応える教育を展開し、スペシャリスト養成を目的とする単位制専門学科としての役割を果たす。	①進路実現や興味・関心に応じ継続的に教育課程の見直しを行うとともに、外部機関との連携を強化する。(1～3年目) ②各学科の特色を生かす専門科目の学習を深化させ、スペシャリスト養成の仕組みを改善する。(1～3年目) ③海外姉妹校交流や研修旅行などを充実させる。(1～3年目)
2	生徒一人ひとりに応じたきめ細かな教育支援 ＜生徒指導・支援＞	(1)それぞれの個に応じた自己実現のために、進路支援を行う。 (2)個々の相談に対応できるように組織体制を整備していく。	(1)入学時から積み上げたデータを活用し、個に応じた適切な進路支援を行う。(1～3年目) (2)教育相談体制を整備し、保護者・年次・学科が連携を図り、早期からの対応を充実させる。(1～2年目)
3	確かな学力の向上 ＜学習指導・授業改善＞	学習習慣や学力に関する3年間の継続的定点観測に基づき、各教科の指導の課題を具体的に把握し、指導の改善に絶えず努める。	①生徒への様々な学習支援を、可能な限り行う。(1～3年目) ②学習習慣などの各種データを分析し、授業の改善や工夫を組織的に進める。(1～2年目)
4	社会生活実践力の育成 ＜キャリア教育＞	(1)専門学科ごとに、入学から卒業までのスペシャリスト教育を、それぞれの専門科目や総合学習で独自に展開し、生徒の専門課程にふさわしいキャリア発達を支援する。 (2)生徒会活動や学校行事、部活動を活性化させ生徒の自主的・主体的な活動の推進や倫理観を育成する。	(1)①専門学科ごとの「総合学習」プログラムを改善し、充実する(1年目) ②キャリア教育実践プログラムを見直し改善する。(1～2年目) (2)①マナー向上と基本的生活習慣の確立に努める。(1年目) ②学校行事、部活動、生徒活動等、幅広い教育活動を展開し、生徒の自主性、社会性等を育成する。(1～3年目) ③清掃・節電を通して、生徒の環境への意識を高める。(1～2年目)
5	地域との協働・連携による開かれた学校づくり ＜地域等連携＞	(1)地域住民や近隣の小・中学校や特別支援学校と部活動での交流やコンサート活動をとおして連携を深め、開かれた学校づくりを進める。 (2)学校へ行こう週間、オープンスクール、学校説明会、ホームページ等を通して本校の多彩な教育活動を広く知っていただく努力をする。	(1)①地域住民との清掃活動や特別支援学校等との連携による福祉コンサートを実施や交流を深める。(1～3年目) (2)①HPの更新や学校説明会の充実を努める。(1～2年目) ②授業公開や体験授業、出前授業など様々な機会を設定し、本校の教育力を地域にも還元できるように工夫する。(1～3年目)
6	信頼に根ざした学校づくりの推進 ＜学校運営・学校管理＞	(1)緊急時に対応できる防災教育・安全教育を学校全体で推進する。 (2)職員の資質向上、実践指導力を高めるための研修を推進する。	(1)地震防災・防火・防犯マニュアルの点検と生徒が安全な学校生活を送るために必要なマニュアルも作成し、定期的な訓練を実施する。(1～2年目) (2)人権研修会や事故防止研修、授業研究の研究協議会等、職員研修を充実させる。(1～3年目)